

平成22年度第2回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成22年6月29日（火）午後1時30分～午後3時35分

場 所 日向コミュニティセンター 会議室1

出席者（12名）

1号委員 佐藤重孝 土井棟治朗 土井長俊 後藤甚一 丸藤百合子
後藤正利 遠田蓉子 浅井博之

2号委員 兵藤満喜子 池田桂 高橋知美

3号委員 後藤征四郎

八幡総合支所：地域振興課長 後藤修、市民福祉課長 齋藤仁志、建設産業課長 阿部幸秀、
八幡病院事務長 佐藤弥、
地域振興課 鳴瀬勉・永森忠嗣・池田裕子

欠席委員 信夫一秋委員、池田善幸委員、後藤純子委員

傍聴者： 1名

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

(1)過疎地域自立促進市町村計画について

(2)うまい米づくりのイベントについて

(3)地産地消について

(4)八幡地域の観光資源の発掘調査について

(5)その他

5 その他

6 閉 会

1 開 会

○兵藤満喜子副会長　本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。これより、第2回の地域協議会を開会いたします。本日、都合により欠席の委員は、信夫一秋委員、池田善幸委員、後藤純子委員の3名です。会議次第に従いまして、土井会長からの挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

○土井長俊会長　昨日の移動市役所において、本日出席の委員から今日のテーマでもあります過疎計画に対しての意見が出されましたが、より良い協議を行い、答えを出すべく進めてまいりたいと思います。

3 会議録署名委員の指名

○兵藤副会長　会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。今回は“6番の丸藤百合子委員”をお願いしたいと思います。丸藤委員、よろしくをお願いします。

○丸藤百合子委員　わかりました。

○兵藤副会長　それでは早速協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

4 協議

○土井議長　それでは、過疎地域自立促進市町村計画について、事務局から説明願います。

○後藤地域振興課長（資料No. 1～3により説明）過疎計画の素案についてですが、担当課で7月中旬を目途に作成中のため、本日は皆さんに提示できませんので、作業日程等について説明します。現在、計画の本文作成・ハード事業及びソフト事業の取りまとめ等を行っており、来月の中旬に本協議会の意見を伺い、その後、庁内の会議等の手続きを経て、8月上旬に県との正式協議を行う予定です。また、支所では計画策定のワーキンググループを立ち上げ、5月中旬から今月中旬まで、地域内の各団体・コミセン・集落代表者からヒアリングを行い、これを元に検討会を開催、ソフト事業等の原案を作成する予定です。次に、先般開催した、地域協議会の懇談会の席上、委員より要望等のあった事項に関し、市の担当課で回答を行ったものをまとめたものです。「基本的な事項」から項目ごとに皆さんからの意見等を記載しましたので、内容等の確認をお願いしたいと思います。

○土井議長　ただいまの説明に関し、委員の意見を伺いたいと思います。

○浅井博之委員　商工会では7月2日に会議を開き、意見の集約を行う予定ですが、ただいま説明のあった要望等以外でも上げていいのですか。

○後藤地域振興課長　構いません。

○後藤甚一委員　聞いたところによると、一條地区のある所では老人クラブがなくなったとのことです。やはり先頭に立って組織を引っ張るのは気が引けるようです。

○後藤正利委員　日向地区には3つの老人クラブがあり、そのうちの1つが消滅寸前となったが、その原因は役員のなり手がいないということでした。こういった組織は一旦消

減すると、再度立ち上げるのは難しいと思います。

○土井議長 私の観音寺地区でも老人クラブがない自治会がありますが、結局、リーダーのなり手がいない、というのが課題です。また、活動に対して何でもかんでもボランティアで、という体制は良くないのではないかと考えます。

○佐藤重孝委員 一條の女性部のように、地域の組織のあり方を考えていく必要がある。地域の役員が、上部の連合組織の役員になったりする時代ではない。

○丸藤百合子委員 老人クラブのみならず、婦人部にしても、会員自体が減少しており、リーダーのなり手がいないことと、組織のあり方が課題となっています。地域を元気にするための人材の発掘とともに、それに対する行政の支援を要望したい。

○遠田蓉子委員 女性の会は2年目に入り、1年ごとにリーダーは交代しますが、前年のリーダーが支援する体制です。前の婦人会は雑用が多かったのですが、今は余裕ができ、先日、福祉施設の視察に行きました。楽しいことを企画すれば、皆が参加すると思います。

○後藤地域振興課長 懇談会時の意見・要望等のまとめは、これで良いのか、確認願います。

○浅井博之委員 荒町から山根までの道路は児童の通学路にもなっているが、ガードレールがなく、農地との段差もあるため、危ない道路ということで、以前より整備の要望が出されているはずなので、本整備を計画に入れても良いのではないかと。また、都市計画税の役割だが、今までは公園や下水道等の整備目的、ということである程度明確だったが、合併後は余り分からなくなった。推測だが、本税で相当の事業ができるのではないかと思う。また、ハード事業をやればソフト事業もついてくるので、これにより経済や産業が成り立つと思うのだが。

○後藤地域振興課長 計画に対して商工会で意見を提出予定、とのことですので、まともな次第、こちらに教えていただきたい。ただいまの道路整備に関しては、合併後3年以内の事業と位置づけられておりますが、実際は、予算の査定担当課が事業実施課と現場確認を行い、優先順位を決めています。これまでも継続して整備の要望をしており、是非、過疎計画にも上げていきたい。都市計画税については、一條・観音寺地区の区域が対象となっており、これまでも下水道、公園等の整備を実施してきましたが、税に見合う事業をいうことで、市にも要望していきたい。また、本町通りの歩道の縁石ブロックについて、除雪時に障害となるということで、改良工事と合わせ、除去したい。

○高橋知美委員 歩道のブロックを取り除くという説明ですが、それによって危険が生じませんか。

○後藤地域振興課長 以前、八幡保育園があったことで、あのブロックを設置しましたが、側溝の上には蓋があり、本来、あれだけのスペースは不要です。除雪時にブロックがあるため、そこに雪がたまり、逆に歩行者も危険となるため、排雪を行っているのですが、ブロックの本来の役割は終わったと考えています。

○後藤正利委員 我々が要望した事項は、いつ審議が行われるのか、また、実際、過疎債を使った事業にどう反映されるのかについて伺いたい。

- 後藤地域振興課長 過疎計画自体は、9月市議会に提案し、審議される予定ですが、これとは別に、9月以降、ハード事業とソフト事業を入れたビジョンを策定予定です。このビジョンには皆さんの意見を取り入れ、過疎債を使って事業を実施する、という手順になると思います。
- 浅井博之委員 合併特例債と過疎債は一緒には使えるのですか。
- 後藤地域振興課長 一緒には使えません。
- 佐藤重孝委員 過疎計画策定までのスケジュールの中で、地域協議会の関わり等について教えてもらいたい。
- 後藤地域振興課長 市の政策推進課では、7月中旬を目途に策定予定の計画案ができた段階で、本協議会の意見を伺い、計画に反映させたいと考えており、臨時的にもう一度、協議会を開催することになるかと思えます。
- 土井議長 皆さんよろしいでしょうか。続きまして、前回、後藤征四郎委員から提出された3つの課題について協議したいと思いますが、まず、課題について、委員から補足があればお願いします。
- 後藤征四郎委員 特にありませんので、委員の意見をお聞かせいただきたい。
- 土井議長 それでは、(2)うまい米づくりのイベントについて、委員の皆さんの意見をお願いします。
- 遠田蓉子委員 JAでは、女性部で食の安全・安心に取り組んでおり、昨年の産業まつりでは「つや姫」で作ったおにぎりの試食等を行いました。また、JAの青年部と女性部が参加し、小学校24校を回り、栽培から指導を行ない、米文化の宣伝をしたそうです。それから、JAの各支部で作った米粉を使った食品のレシピを紹介しており、それが好評で、市内の企業でも米粉を使用した食品製造が増えているそうです。
- 後藤征四郎委員 地域住民自身がうまい米を実感することと、売る段階できちんと評価されているかどうかが重要だと思う。
- 佐藤重孝委員 “はえぬき”は食味ランキングで特Aを10数年連続獲得しているものの、他県に作付けさせなかったため、全国にネーミングが浸透しなかった。このため、一般の認知度は低く、主に業務用に使われている状況ではないか。要は「戦略」が大事だと思う。
- 後藤征四郎委員 スーパーで販売する米は、色々な所の米が混ぜてあるのでおいしく感じられない。うまい米の価値をどのようにしたら高められるのかと考えている。JAはいかにして米を売るかという視点なので、地域振興のためにどうしたら良いのか、ということで、地域協議会の場に本テーマを取り上げた次第です。
- 浅井博之委員 おいしい米の理由は、おいしい水です。ここは水の郷100選になっており、これを元に水路の整備も行いました。やはり本地域は、米を作っている農家が良くなれば、他にも波及効果が出てくる。
- 後藤甚一委員 私も農家から直接米を買っているのですが、やはりおいしいと感じる。
- 後藤正利委員 日向地区は確かに水はいいですが、つや姫は出穂がはえぬきより1週間ほど遅いので、作付けは無理のようです。

- 後藤征四郎委員 先日テレビ番組で放映されていましたが、おいしいご飯は米の品種には関係なく、炊き方である、ということを書いていました。
- 土井議長 よろしいでしょうか。それでは次に（3）地産地消について、に移ります。
- 遠田蓉子委員 大沢で女性部が立ち上げた“わらびの里”はどうでしょうか。
- 丸藤百合子委員 大沢では今話のあった“わらびの里”が活動していますし、日向の“どんでん畑”もいい例ではないか、と思います。地元の人が自分たちで創意工夫をして運営しています。地域にある資源を利用するとともに、それを全国に発信するような人材を引き出すことが、求められるのではないかと思います。
- 遠田蓉子委員 本地域でもいろいろな活動をしている人達がありますが、やはり宣伝が不足しているのではないのでしょうか。それから、下黒川で農家を借り、予約制で食事を提供し、市街地からも結構お客さんが来ている、という話を聞いています。ふらりと来て欲しいということで、「ふらり」という名前の店だったと思います。
- 高橋知美委員 そういうのをまとめた掲示板があればいいと思いますが。
- 遠田蓉子委員 そのお陰で、客が大勢押し寄せ、かえって駄目になる、という場合もあるので、口コミが一番いいのかな、と思います。
- 土井棟治朗委員 今までの話は、お客さんが集まればいい、という話ですが、現実にはその逆の面が出ているケースもあります。例えば、市条一区の上の湯ノ澤霊泉近くの土手や駐車場に、バイクで来てキャンプをするのですが、後始末をしていかないため、地元民が年に数回後始末をする、ということが起きているという現状があります。
- 土井議長 それでは、（4）八幡地域の観光資源の発掘調査について、に移りたいと思います。
- 後藤甚一委員 私は行ったことないのですが、白玉川に注連石権現というのがあられるらしく、行ったことがある人は、すばらしい眺望に感動するそうです。車を降り、沢伝いに歩いて1時間くらいと聞いています。
- 後藤征四郎委員 話を聞きますと、トレッキングのようですね。
- 浅井博之委員 大沢には五台沼がありますが、あそこもいいところです。
- 遠田蓉子委員 観音寺城跡はどうなのでしょう。
- 後藤征四郎委員 あそこに道路がつかないものかと思います。西側の道路と結び付ければ車で通れますし。
- 土井議長 開会から2時間になろうとしています、ほかにありませんか。
- 後藤地域振興課長 昨年度の協議会で、本日欠席の後藤純子委員から“地域の宝の掘り出しについて”という課題が出され、話の中で管内施設等の視察はどうか、という話になりましたので、場所及び時期等を含めて、検討していただければと思います。
- 土井議長 7月中旬は過疎計画の協議となっており、当初予定では10月上旬に協議会開催となっております。それでは、場所と時期については、正副会長に一任していただければと考えますが、いかがでしょうか。

～～～異議なしの声あり～～～

○土井議長　それではそのように取り計らいます。(5) その他、に移ります。何かありましたら、ご発言願います。

○丸藤百合子委員　今日の傍聴人はないわけですが、会場を変えたメリットはあったでしょうか。

○後藤正利委員　委員自身、その地域の状況を見たり、触れ合えた、ということがあるのではないのでしょうか。

○池田桂委員　正門前のカーブミラーの所の看板が、まだ「日向小学校」になっているので、「日向コミュニティセンター」に変えたほうがいいのではないかと、思いました。

○後藤正利委員　仮にそこを変えても、昇降口の所はそのまま残ります。聞くところによると、昇降口の所は、そう簡単に変えられない、ということでした。

○土井議長　以上でその他はよろしいですか。

5 その他
なし

6 閉 会

○兵藤副会長　これを持ちまして、第2回目の地域協議会を閉会いたします。委員の皆さんご苦労様でした。